認定特定非営利活動法人「うりずん」からの便り

2020.4.25発行

第33号

テーマ：どんな時も笑みをたたえ

うりずん通信・テレマカシー

URIZUN

うりずんとは…「潤う」と水が土にしみとおる「染む」からなる言葉で、沖縄の若夏をあらわします。さわやかな南風が吹き、野山は緑にあふれます。うりずんのようにやさしい風に包まれて、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいという思いから名付けられました。

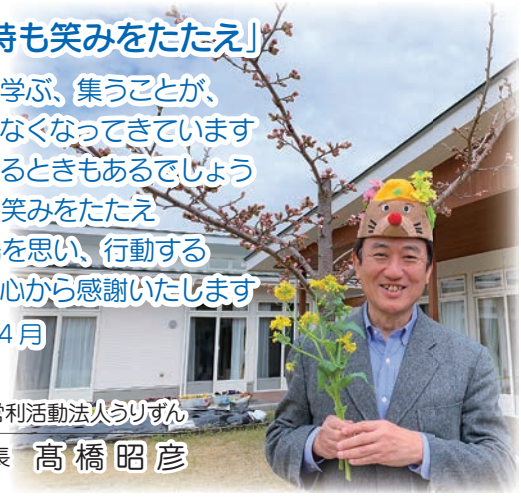
うりずんの想い

私たちの住む地域のどこかで、
重い障がいを抱えた子どもたちと
24時間その子どもを介護している家族が暮らしています。
うりずんは、子どもたちが友だちと楽しく遊び、
両親は介護から離れひと休みできる場所です。
障がいを持った子どもと家族に
「普通」に暮らすことができる社会を目指しています。

「どんな時も笑みをたたえ」

出かける、学ぶ、集うことが、
当たり前でなくなってきています
不安を感じるときもあるでしょう
どんな時も笑みをたたえ
他者の立場を思い、行動する
多くの人に心から感謝いたします

令和２年４月



認定特定非営利活動法人うりずん
理事長　髙橋昭彦

卒園おめでとうございます！

３月17日は、児童発達支援はりゆんの卒園式でした。新型コロナウイルスの影響で、規模は小さくせざるを得ませんでしたが、スタッフは全員式服を着て臨みました。卒園児入場！と声がかかり、音楽とともにスタッフに誘導された卒園児が入場し、お母さんの隣に座ります。責任者からの思いのこもったひと言に続き、卒園証書をお渡ししました。祝辞の中で、あるご家族のお話をしました。もう、成人されている障害のある女性とご家族の話です。女の子が生まれ、障害が明らかになった時、お父さんはこう言われたのです。「障害のある子どもがいるのに、なぜこんなに明るいんだ、と言われるような家にしよう」と。やがて、妹さんが生まれました。妹さんが小学生の時に、ある友達からお姉さんのことを「お前の姉ちゃん、障害があるんだよな！」と言われた時、妹さんは「だから何よ！」と毅然と言い返したそうです。その家は、ご苦労はあったかと思いますが、お父さんの言われた通りの明るい家庭になりました。卒園されてからも、私たちとのお付き合いは続きます。

どうか今後も、ご家族だけで子育てをするのではなく、社会が子育てするという気持ちで、いろんなサービスをお使いください、と話しました。

記念品をお一人ずつお渡しして、スタッフ手作りのスライドショーに見入り、みんな涙しました。はじめてうりずんにいらした時からの成長を感じて、すごいな～大きくなったな～と喜びを分かち合いました。保護者の皆さんからもご挨拶を頂きました。あるお父さんは「障害があると分かり、この先どうしようかと思っていましたが、おかげさまで卒園できてありがとうございました」とお話がありました。

最後は、記念写真。皆にレンズの方を向いて欲しくて、カメラの後ろから、横からスタッフの、こっちよ～という様子が微笑ましい。

お帰り支度のあとで、外に出てみると、ウッドデッキに在園児、放課後等デイや日中一時のお兄さんお姉さんたちが待ち構え、サプライズでテープ、お花のプレゼント、そして、スタッフの生伴奏で believe を皆で歌いました。青空がきれいでした。

お子さんだけでなく、ご家族やスタッフにとっても、一つの区切りとなる卒園式が出来ました。準備してくれたスタッフに感謝です。卒園おめでとうございます！

4月10日は、「きょうだい」の日です

きょうだいの日（シブリングデー）は、父の日、母の日の、兄弟姉妹版の日です。自身の兄弟姉妹（きょうだい）や、病気や障がいをもつ子どもの「きょうだい」に思いを馳せ、応援の気持ちが頑張るきょうだいたちに届くやさしい記念日になるようにとの願いを込めて制定されました。（http://sibtane.com/siblingsday）

2019年度
小児在宅医療体制構築事業＆第3号研修（喀痰吸引等研修）報告

①　小児在宅医療体制構築事業

2019 年度も栃木県より小児在宅医療体制構築事業を受託し研修会等を行いました。（後期実施の事業を紹介します）

◆11月10日　小児在宅医療実技講習会（会場：自治医科大学）

医師13名、医師以外の職種（薬剤師・看護師・理学療法士）43名とたくさんの方々にご参加頂きました。「在宅での食楽支援」の実技では、岐阜県　医療法人かがやき　総合在宅医療クリニックの管理栄養士　安田和代さん等をお迎えして、ミルサー食の実演を頂きました。

医師向け実技講習会「食楽支援」実技

◆1月26日　多職種研修会は、済生会宇都宮病院みやのわホール

医療職・福祉職・行政の方など109名の方々にご参加頂きました。社会福祉法人子羊学園　つばさ静岡医務部長の淺野一恵さんをお迎えして、重症児者の食事支援の講演と、新しい食形態についての実習で得たことは、今後の支援に大変役立つものとなりました。

医師向け講習会▶
カニューレ交換

多職種研修での食形態の実習

【2019 年度　小児在宅医療体制構築事業】

- 家族の情報交換会・交流会（8/3　会場：宇都宮市富屋地区市民センター）
- 多職種研修会（10/6　会場：栃木市国府公民館）
- 小児在宅医療実技講習会（11/10　会場：自治医科大学）
- 多職種研修会（1/26　会場：済生会宇都宮病院みやのわホール）
- 医師向け訪問診療同行研修（随時　2019年度9件）
- 小児在宅医療に関わる医師等を対象とした相談支援事業（随時　2019年度5件）

第3号研修実技

②　第三号研修（喀痰吸引等研修）

◆第１回（2019/8/31 ～ 9/1）
第２回（2020/2/1 ～ 2/2）開催

第１回・第２回とも元栃木県社会福祉士会会長の檜山光治さんをゲスト講師にお招きし、県内の医療と福祉の連携の歩みや実践についてお話いただきました。また、うりずんご利用者家族の中田香織さん祐希さんご家族に講師をお願いし、当事者と家族の想いを伝えていただきました。受講者は介護職、保育士、理学療法士等計 11 名でした。（豊田紀子）

うりずんの仲間たち

ご家族に伺いました♪

名前：**益子のあ**さん（のあちゃん）
学年・年齢：5歳
好きなこと：音の鳴るオモチャ、お散歩、みんなの輪の中に入ってお話を聞くこと
嫌いなこと：髪の毛を洗う、結ぶこと

うりずんてどんなところ？：たくさんのイベントや四季折々の貴重な経験をさせてくれます。うりずんでの初体験がたくさんあり、のあも毎回楽しい時間を過ごさせていただいています。スタッフの方がいつも元気な笑顔で接してくださり、安心感のあるとても心強い存在です。

メッセージ：いつも優しく寄り添い、のあの気持ちを汲み取ってくださり、ありがとうございます。うりずんと出会い、家族みんながたくさんの希望をいただきました。スタッフの方には感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしくお願い致します。

名前：**大門悠真**さん（ゆうまくん）
学年・年齢：3歳4ヶ月
好きなこと：パパに歌を歌ってもらうこと、ぬるめのきき湯に入ること
嫌いなこと：暑さ、バイキンマンのいじわるシーン

うりずんてどんなところ？：お友達と一緒に過ごせて、初めてのことにチャレンジできるところ

メッセージ：お芋掘りは泣いちゃうけど、鬼退治が得意な悠真くん。そんな親の知らない一面を引き出して下さり、成長を一緒に見守っていただいていることに感謝しています！

介護福祉士　大森美樹・児童発達支援責任者　齋藤志津香

うりずん日記

わらゆん卒業 おめでとう

3月9日、のざわ特別支援学校の高等部を卒業と同時に“わらゆん”を卒業となるお二人の卒業を祝う会を行いました。今年は、3月に入って学校が休校になり、いつも一緒に利用している後輩たちと会う機会がなくなり、うりずんに来ているお友達に囲まれての会となりました。

高校生という反抗期もある難しいお年頃。スタッフに気を使って、笑顔を見せてくれる日もあれば、寝たふりをして過ごした日もありました。わらゆんを巣立っていくと思うと、感慨深い気持ちでいっぱいです。12年間の学生生活を終え、これから新しい道を歩んでいくお二人に、心からエールを送りたいと思います。（大森美樹）

はりゆん卒園式

3月17日、児童発達支援はりゆんの卒園式が行われました。今回卒園されたのは、3名。通い始めた頃は、入退院をくり返していましたが、今では心も体も強くなり、たくさんの事に興味をもつようになりました。

今回の卒園式をするにあたって、新型コロナウイルスの感染リスクを考え、在園児や他事業のご利用者の同席と食事会を中止し規模を縮小して行いました。ただ、縮小するだけでは寂しい式になる心配があったので、スライドショーで登園当初からいままでの思い出の写真を流しました。

その後、テラスで在園児・日中一時や放デイのお兄さんやお姉さんから歌やお花のサプライズがありました。時間は短かったですが、たくさんの気持ちがつまったあたたかい式になりました。（齋藤志津香）

日中一時支援事業

●2020年1月～3月のご利用状況　（人）

1月	2月	3月	合 計
128	115	144	387

＊ いずれも延べご利用人数です

●現在の登録状況…… 57名（3月31日現在）

居宅介護事業

●現在の登録状況…… 19名（3月31日現在）

移動支援事業

●現在の登録状況…… 16名（3月31日現在）

相談支援事業

●現在の登録状況…… 12名（3月31日現在）

児童発達支援・放課後等デイサービス事業

●2020年1月～3月のご利用状況　（人）

	1月	2月	3月	合 計
児童発達支援	73	62	74	209
放課後等デイサービス	73	73	68	214

＊ いずれも延べご利用人数です

●現在の登録状況（3月31日現在）
＊ 児童発達支援 …… 13名
＊ 放課後等デイサービス …… 16名

居宅訪問型保育事業

●2020年1月～3月のご利用状況　（人）

1月	2月	3月	合 計
16	17	15	48

＊ いずれも延べご利用人数です

●現在の登録状況　1名（3月31日現在）

見学・ボランティア等ご来所者数

●2020年1月～3月のご来所状況　（人）

	1月	2月	3月	合 計
見　学　者	18	43	28	89
ボランティア	12	15	0	27
計	30	58	28	116

※ 詳細につきましては、認定NPO法人うりずんHP「事業所案内　活動報告」をご参照ください。

お星さまになったお友達

令和元年11月7日、大塚智揮さんが天に召されました。享年11歳でした。

うりずんを3歳頃からご利用になられ、智揮さんの成長をスタッフみんなで感じていました。ひょうきんでやんちゃな智揮さん。ダンスが上手で場を盛り上げたり、マイクを持っては歌手になりきり、いつもいつも周りを笑顔にさせてくれました。

智揮さんとの出会いは、私達にとってかけがえのないものでした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

第24回　在宅ケアネットワーク栃木

参加報告

令和2年2月11日に自治医科大学地域医療情報研修センターで行われた「在宅ケアネットワーク栃木」主催の研修会・シンポジウム（大会長：村井邦彦世話人）にうりずんから16名が参加しました。

今年のテーマは「社会的処方」。病気や貧困など様々な理由で医療や福祉の支援制度にたどり着けない人々を支援する取り組みが紹介されました。こうした支え合い活動は、うりずんの理念である「障がいがある人もない人も、共に助け合える社会の実現」にもつながり、今後の活動を進める上で大変参考になりました。

個人的には、外出が難しい高齢者の自宅へ酒宴そのものをデリバリーする「居宅訪問型居酒屋」に心惹かれました～

（報告者／我妻英司）

笑顔の魔法

KOMAY

どんなにつらい時だって
どんなに悲しい時だって
君は笑顔を絶やさない

どんなに明日が見えなくて
闇の世界に飲まれたとしても
笑顔が曇ることはない

そんな姿はいつだって
僕に大きな力をくれる

それはとても不思議な力で
頑張ろうって思わせてくれる
君の笑顔は魔法のようだ

おいしいもの紹介

Café & bar
バウム
Baum

懐かしさと木のぬくもりのある外観

■ Café & bar　Baum（バウム）
日光市小代 206-5
☎ 0288-25-7210
営業時間：12:00～23:00（L.O.22:00）
日曜営業
定休日：月曜日、月1回連休有（月・火）
（ご来店時は予約のお電話をお願いします）

パン屋やカフェ巡りが大好きな私が、日光と鹿沼の境の線路わきにひっそり、こんな素敵なお店があるのかと驚き、感動しちゃうお店を紹介します。

植物に囲まれた扉を開くと、木造りのナチュラルな空間があり、初めてでも懐かしさがあり、落ち着きます。人柄の良さがにじみ出るご夫婦のセンスの良い料理は目でも楽しませてくれます。サラダやじゃがいものオムレツなど盛り合わせのランチの前菜は、それだけでお腹いっぱいになるくらい野菜がてんこ盛り！

手作りのデザート

メインも本当に美味しくてコスパのよさに申し訳なく感じてしまうほど。ディナーでの一番人気はグラタン。奥さんが作る海外で修業したパンやデザートもコーヒーに最高！時々通る電車の音も心地よく、のんびり羽をのばすランチがしたい時、訪れてみてください。（大内陽子）

**NPO法人うりずんでは
通信発行をご支援してくださる
協賛企業様を随時募集しております。**

「うりずん通信・テレマカシー」は年４回の発行となります。1回の発行費用に、印刷・郵送代などで15万円ほど必要となります。そこで、広告代として通信発行を支援していただける協賛企業様を一口１万円で募集いたします。

次号掲載のご希望の方は６月中旬までにNPO法人うりずんまでご連絡ください。皆様方のご協賛・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

協賛企業様
あなたのキャリアにエールを
KEEPCARRIÊRE
キープキャリエール

NPO法人うりずん寄付者名簿（敬称略）

令和2年1月1日～3月31日（到着分）

ご寄付　2,886,228円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■一般寄付者　延べ 122 名（うち匿名 24 名）

宮城県
仙台市　成田由加里

福島県
郡山市　舘野　昌子

栃木県
宇都宮市　赤羽　隆子
秋元　幹夫
阿久津弘三
天知　稔
市瀬　俊子
伊藤　貴子
稲葉　達弥
上澤　美樹
宇都宮中央ライオンズクラブ
大房　寿男
金子　徳代
宇都宮市　黒崎由美子
小荷田忠幸
櫻井　克樹
佐藤　千夏
助名真由香
助名　善夫
成常建設㈱代表取締役社長　山中　和弥
高野　博子
髙橋　信義
田村　雅子
田村　嘉應
塚田　貴子
土沢　薫
手塚耳鼻咽喉科
床井　忠夫
宇都宮市　中田　祐希
日光総業㈱
橋本　正行
半田　孝
福本知恵子
黛　久美子
御子貝荒江
宮村　尚
武藤　高茂
矢古宇栄次
柳澤　邦夫
山口　昌彦
山田　昇
横松　晃
濫觴　章子
鹿沼市　柴田　賢一
日光市　大嶋　洋子
大嶋　洋史
大橋　康宏
片岡　真理
加藤　浩治
神山　光弘
川村　和枝
大門　泰子
山口健太郎
さくら市　加藤　朋子
西崎　將晴
寺脇　立子
那須塩原市　日下部　慎
齋藤　茂子
髙根澤　孝
真岡市　菊池　浩史
下野市　小島　好子
本間　洋子
小山市
トータルクリニック寺門医院
栃木市　川嶋　陽子
青木浩一郎
塩谷町　小野崎千鶴子

茨城県
つくば市　手塚　文栄

群馬県
高崎市　秋葉　緑
緩和ケア診療所いっぽ
小笠原一夫
千　康夫

埼玉県
さいたま市　宮谷　博幸
さいたま市　村上　徹也
渡邊　誠
上尾市　川田　桂子
川口市　齋藤　喜作
川越市　森脇　浩一
所沢市　西山　靖将
戸田市　小林　洋一
本庄市　坂本喜久枝
和光市　浅野　政子

神奈川県
横浜市　斉藤　伸子
志保田俊男
横須賀市　㈲ヒロ薬局
川崎市　小竿　順子

東京都
中央区　ダルモーロ裕子
江戸川区　清水　勝利
江東区　堀田　聰子
港区　酒井三貴子
渋谷区　市川　洌
迫田　朋子
新宿区　敷田　牧子
中野区　塩田美津子
練馬区　高久　史麿
多摩市　楠本　郁子
府中市　麻生千恵美

石川県
金沢市　上　瀧大

滋賀県
大津市　小谷　彌生
渕元　浩二
米原市　小椋　一司

大阪府
大阪市　吉川かおり
髙橋　昭夫

京都府
京都市　松岡　真里

奈良県
桜井市
㈱萬葉　上山　三幸
橿原市　加藤　久和

鳥取県
倉吉市　宮松　篤

熊本県
熊本市　岡田　誠治

■ 個人賛助会員　53 名の方が入会・更新くださいました（うち匿名 7 名）

宮城県
仙台市　成田由加里

栃木県
宇都宮市　秋元　幹夫
阿久津弘三
池本喜代正
植木　茂
遠藤　美紀
近江卯女子
宇都宮市　大房　寿男
黒崎　ヒロ
櫻井　克樹
佐藤　千夏
助名　善夫
須藤　勝則
田村　雅子
田村　嘉應
塚田　貴子
宇都宮市　床井　忠夫
橋本　正行
増子　孝徳
黛　久美子
柳澤　邦夫
山田　昇
横松　晃
濫觴　章子
日光市　大嶋　洋史
日光市　片岡　真理
川村　和枝
大田原市　三浦知津子
渡邊　学
那須塩原市　日下部　慎
下野市　岡島　美朗
本間　洋子
栃木市　川嶋　陽子
青木浩一郎
佐野市　島田　泰利
塩谷町　小野崎千鶴子
益子町　青木　年江

茨城県
つくば市　手塚　文栄

埼玉県
所沢市　西山　靖将
戸田市　小林　洋一

千葉県
東金市　髙橋　淳子

東京都
江戸川区　清水　勝利
江東区　小野　一己
府中市　麻生千恵美

神奈川県
横浜市　斉藤　伸子
志保田俊男
川崎市　小竿　順子

大阪府
東大阪市　岡本　一洸

兵庫県
神戸市　泉　和秀

滋賀県
大津市　鈴木　順子

奈良県
橿原市　加藤　久和

岡山県
岡山市　髙橋　索真

■ 団体賛助会員　15 団体が入会・更新くださいました（うち匿名 2 名）

宮城県
大崎市　医療法人心の郷　穂波の郷クリニック

栃木県
宇都宮市　㈲アーバンエルシー
荻原会計事務所
宇都宮市　栃木県済生会宇都宮病院
高根沢町　谷口医院
佐野市　柳川小児科医院
鹿沼市　㈲つくも薬局
那須塩原市　さいとうクリニック
那須塩原市　社会保険労務士法人 TMC

茨城県
筑西市　宮田医院

千葉県
松戸市　いらはら診療所

山梨県
中巨摩郡　医療法人社団健輝会　げんきキッズクリニック

滋賀県
長浜市　医療法人　布施クリニック

ご支援のお願い

重症障がい児者と家族への支援は緊急を要します。しかし行政の財政補助等は限られており、うりずんが支援活動を続けていくためには、皆様からのご支援がほんとうに必要です。今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

○賛助会員のお申し込みの場合
個人年会費（ 3,000 円）
団体年会費（10,000 円）　のどちらかを選択してください

【各種振込先のご案内】
振込みは、ゆうちょ銀行の専用口座へお願いします。
（誠に恐縮ですが、手数料は別途ご負担をお願い申し上げます）
<ゆうちょ銀行からのお振込み>
口座番号：00110-4-441471
口座名：特定非営利活動法人うりずん

<ゆうちょ銀行以外からのお振込み>
〇一九店（ゼロイチキュウ店）　当座：0441471
【オンライン寄付】
うりずんのホームページ（http://www.npourizn.org/）からもご寄付と賛助会員のオンライン決済ができます。（ビザかマスターカードに限ります）
【寄付金額の最大 50%が税金から戻ってきます！】
「うりずん」は「認定NPO法人」のため、うりずんへの寄付と賛助会費には確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。（手続きについては、最寄の税務署等にお問合せください）

ご寄贈いただきました。

多くの方々から寄贈品をいただきました。
今回は新型コロナウイルスの感染予防のためのマスクや消毒用品に関し、
ご心配をおかけし、またご支援を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。

パナホーム北関東㈱代表取締役社長今井健次様
そらぷちキッズキャンプ様
竹本春絵様、鈴木雅彦様、有光祐子様
マスク、アルコール綿

そらぷちキッズキャンプ様
ヒカキンのハチキンぬいぐるみ

◀秋元幹夫様
ニッサン・インゲル作
「冬」

栃木トヨタ整備㈱様▶
消毒用水

※紙面の都合により、すべての寄贈品を掲載できず、申し訳ございません。

写真&作品展～わくわくがいっぱい～　2会場にて開催しました♪

うりずん写真&作品展～わくわくがいっぱい～は宇都宮市南図書館ギャラリーにて2月21日～23日、宇都宮市民ギャラリーにて2月27日の計4日間、写真65点、共同作品・個人作品3組を展示して実施しました。

来場者された方々はお子様から大人の方まで491人。日々のうりずんの活動の様子や利用している方々の豊かな表情に癒されながら、共同で作った作品に感動している方が多くありました。

宇都宮市南図書館ギャラリー

特に今回は両会場とも2回目ということで、前回の写真&作品展を覚えていてくださり、励ましのお言葉を頂き、継続することの重要性を認識することができました。残念ながら、後半の日程2月28日から3月1日に関しましては新型コロナウイルスの感染予防の観点から中止となり、後半の日程でご来場を予定されていた方々にはご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。

共同作品「バムとケロそらのたび」

宇都宮市市民ギャラリー

後日、うりずんを会場として写真&作品展～わくわくがいっぱい　リベンジ～の実施を計画中です。（三谷知子）

＊尚、本事業は宇都宮市市民活動助成金の助成を受けて実施いたしました。

地域交流スペース「ゆいま～るCafé」開催予定♪

ボランティアさん募集します♪

うりずん地域交流スペース「ゆいま～る」では月1～2回、どなたでも参加でき、ゆったりすごせる居場所として、手作りスイーツや季節のミニイベントなどで楽しむCafeを行っていきたいと考えております。

そこで、**月1～2回平日の10:00～15:00の空き時間にお手伝いいただけるボランティアさんを募集**いたします。是非、お気軽にお問合せ下さい。

詳しくは
事務局 三谷まで
☎ 028-601-7733

スタッフ募集　うりずんでは、職員（常勤・非常勤）を募集しています！

子ども達の笑顔に癒される毎日です！ 私たちと一緒に笑顔いっぱいのうりずんを作りませんか？

＜募集職種＞
看護師・介護福祉士・ヘルパー・OT・PT・ST・保育士
相談支援専門員（障がい分野での相談支援業務経験者のみ）

障がい福祉分野を経験された方やこれから経験したい方で、うりずんの事業に関心のある方、新事業立ち上げに興味のある方…是非うりずんで一緒に働きませんか！

＜事業内容＞
医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア、ホームヘルプ、児童発達支援、放課後等デイサービス、訪問看護など。

急募中
★平日の午前（9:00～14:00）、午後（14:00～18:00）、土曜勤務可能なパート保育士、介護職、看護師を急募中です！（勤務時間等応相談）

詳細はうりずんまでお問い合わせください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

ボランティアも募集しています！

連絡先　☎ 028-601-7733（日・祝祭日はお休みです）

●● 新しいスタッフの紹介 ●●

高田友美

♥ こんにちは。1月末に入職しました看護師の高田友美（たかだ・ゆみ）です。

小児看護から高齢者看護の経験を経て、以前からずっと働きたい！と思っていた「うりずん」に入職させて頂きました。

利用者さまと、少しずつ距離を縮めていけるように…笑顔を心掛け、丁寧に接していくことを心がけていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

木々の新緑がまぶしい季節になりました。日々の生活も今まで通りとはいかないことが増えていますが、うりずんの中は、変わらずほほえみがいっぱいです。

お陰様で、今回のテーマの『どんな時も笑みをたたえて』にひったりの通信ができ上りました。

今後も変わらぬご支援をお願い致します。

金子 洋子

URIZUN
うりずん通信・テレマカシー
第33号　2020年4月25日発行
http://www.npourizn.org/

《編集・発行》 認定特定非営利活動法人 うりずん
〒321-2116　栃木県宇都宮市徳次郎町365-1
TEL：028-601-7733㈹　FAX：028-665-7744㈹
Mail：urizn@hibari-clinic.com
《デザイン・印刷》 デザインスタジオ　アクセス